

ふりがな 氏 名	みやけ もとこ 三宅 元子	職 名	教授
取得学位	博士(教育学)	学会での受賞歴	
主な担当科目	くらしの経済、消費生活論		
所属学会	日本家政学会、消費者教育学会、日本教育工学会、日本 GID 学会、大学教育学会		

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
・令和4年度大学へのエシカル消費の普及啓発事業 受託研究	2022年4月 ～2023年2 月	名古屋市から委託され、大学生が授業で学んだ知識・技 術を生かし、企業と連携し名古屋市主催のイベント(消費 生活フェア)や地域の行事でエシカル消費の啓発活動を行 った。
・令和4年度名古屋環境大学 共有講座 講師	2022年6月 ～7月	一般市民向け SDGsに関する全5回の講座を担当した。
・令和4年度名古屋市土曜学習講座 講師	2022年9月	小学生向け金銭教育学習講座を担当した。

◆ 研究業績

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
著 書	実践的指導力をつける家庭科教育 法	共	2018年 10月	大学教育出版	多々納道子・伊藤圭子他11名 第14章 分担(pp. 150-161)
論 文	・食育からみた異分野融合実習の効 果に関する考察	単	2019年 3月	名古屋女子大学紀要 第65号家政・自然編	<u>三宅元子</u> (pp. 39-50)
	・JUES からみた学習経験に関する 一考察	共	2019年 3月	名古屋女子大学紀要 第65号人文・社会編	<u>三宅元子</u> 、 <u>白井靖敏</u> (pp. 207-214)
	・カミングアウト後の当事者と友人大 学生の聞き取り調査からみえる性同 一性障害への理解と支援の指針	単	2019年 12月	GID学会雑誌Vol.12 No1	<u>三宅元子</u> (pp. 121-128)
	・「総合的な学習の時間」と大学での 深い学び	共	2020年 3月	名古屋女子大学紀要 第66号人文・社会編	<u>白井靖敏</u> 、 <u>三宅元子</u> (pp. 141-150)
	・内部質保証を見据えた学修ポート フォリオとルーブリック評価について	共	2020年 3月	名古屋女子大学紀要 第66号人文・社会編	<u>三宅元子</u> 、 <u>白井靖敏</u> (pp. 151-160)
	・大学生の主体的な学修を促す「総 合的な学習の時間」での学外授業 実践	共	2021年 3月	名古屋女子大学紀要 第67号人文・社会編	<u>三宅元子</u> 、 <u>白井靖敏</u> (pp. 85-93)
・「総合的な学習の時間」での学習 経験から考察するインストラクショ ナルデザイン	共	2022年 3月	名古屋女子大学紀要 第68号人文・社会編	<u>白井靖敏</u> 、 <u>三宅元子</u> (pp. 101-113)	

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
論 文	・大学生の主体的な学修を促す「総合的な学習の時間」での学外授業	共	2022年 3月	名古屋女子大学紀要 第68号人文・社会編	<u>三宅元子</u> 、白井靖敏 (pp. 115-123)
	インフォグラフィックスを用いた課題 の開発と実践― 授業内容の理解と 情報リテラシーの習得の統合的な達 成を目指して―	共	2022年 6月	大学教育学会誌44(2)	飯尾健、 <u>三宅元子</u> (pp. 51-61)
	大学生の主体的な学修を促す「総合 的な学習の時間」での学外授業	共	2023年 3月	名古屋女子大学紀要 第69号人文・社会編	<u>三宅元子</u> 、白井靖敏 (pp. 123-132)
学会発表	・消費者教育におけるインフォグラ フィックスを用いた学習活動の開発と 実践(ポスター)	共	2021年 5月	日本家政学会第73回研 究発表大会	<u>三宅元子</u> 、飯尾健 要旨集(p77)
	・インフォグラフィックスを用いた情 報リテラシーのパフォーマンス評価 の試み(口頭発表)	共	2021年 6月	大学教育学会第43回大 会	飯尾健、 <u>三宅元子</u> 要旨集(pp80-81)
	・Metacognitive Awareness Inventory の因子構造の再検討(口頭)	共	2021年 9月	教育システム情報学会 第46回全国大会	丹羽量久、山地弘起、 <u>三宅元子</u> (pp125-126)
	・名古屋市と連携した学内消費者教 育実践におけるルーブリック評価 (口頭)	共	2021年 10月	日本消費者教育学会第 41回全国大会	<u>三宅元子</u> 要旨集(p46)
	・メタ認知尺度 MAI による学生の分 類と情報基礎科目の学習成果との 関係(口頭)	共	2022年 3月	第28回大学教育研究フ ォーラム	丹羽量久、山地弘起、 <u>三宅元子</u> (p48)
そ の 他 (報告書)	・第4章「主体的な学び」を修得さ せる授業実践の事例報告 第2節家 政学部家政経済学科の事例	共	2019年 5月	総合科学研究第13号	<u>三宅元子</u> 、白井靖敏 (pp40-43)
	・性別に違和感がある子ども達への 制服に関する考察	単	2019年 12月	GID 学会雑誌 Vol.12 No1	<u>三宅元子</u>
	・エシカル教材の開発とエシカル消 費の啓発実践	単	2021年 3月	大学による倫理的消費 (エシカル消費)普及啓発 事業事例集 名古屋市ス ポーツ市民局	<u>三宅元子</u> (pp22-23)
	・女子大学生のキャリアと化粧に対 する意識(3)	単	2022年 5月	総合科学研究第16号	<u>三宅元子</u> (p44)

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
そ の 他 (報告書)	・大学における効果的な授業法の研究(平成30年度～令和3年度) —本学における効果的なアクティブラーニングの開発—	共	2022年 5月	総合科学研究第16号	三宅元子(研究代表)他13名 (pp1-37) 2章(pp21-23)、3章(p29)、分担